

令和5年度 中学部 1年（Ⅱ課程 A類型）社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	1学年1～4組（24名）		・マナーとけいご絵辞典 ・学習プリントなど

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)身近な地域や市区町村の地理的環境，地域の安全を守るための諸活動，地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり，公共施設の役割及び外国の様子について，具体的な活動や体験を通して，自分との関わりが分かるとともに，調べまとめる技能を身に付けるようにする(中社会Ⅰ段階) (思判表力) 社会的事象について，自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う(中社会Ⅰ段階) (学・人)身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち，地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う(中社会Ⅰ段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	(知及技)家庭や学校でのきまりを知り，生活の中でそれを守る大切さが分かる。 (思判表力)社会生活ときまりとの関連を考え，表現できる。 (学・人)様々な場面で「きまり」があることに気づくことができる。 (中社会Ⅰ段階)社会参加ときまり(イ) (※中社会Ⅰ段階)工業と生活(ア)、1段階)地域の安全と関連づけて指導する)	【評価規準】 (知・技)家庭や学校、社会では場面に応じたきまりがあることに気づいている。 (思・判・表)交通ルールや公共のマナーを守って行動することができる。 (主学)様々な場面で「きまり」を守れたか、振り返ろうとしている。 【評価資料】活動の様子 発言 ワークシート 作成物	単元1「きまりを守ろう」 ・道を安全に通行するための決まり～交通安全学習～ ・ゴミを分別して捨てる ・学校でのきまり、公園でのきまりなど	・学校周辺を歩いたり、動画をしたりして、外出時に安全に移動するためのきまりや気をつける場所について確認し、発表・地図にまとめる。標識の意味についても、考える。 ・ごみの分別方法や処理の工程を学習する。 ・リサイクル活動を体験しながら、出たゴミがどのような過程で処理、再利用されていくかまとめる。 ・社会や学校で、色々なきまりがあることを知る。
2 学期	14	(知及技)身近な地域や自分たちの市の様子が分かる。 (思判表力)都道府県内における市の位置や市の地形、土地利用などに着目して，身近な地域や市の様子を捉え，場所による違いを考え，表現できる。 (学・人)学校や住んでいる市町村の良いところを教師や友達と一緒にまとめることができる。(中社会Ⅰ段階)我が国の地理や歴史(ア)	(知・技)学校や住んでいる市町村の名前や位置を理解しようとしている。 (思・判・表)身近な市町村内にある、商業施設・公園・公共施設などの名前・写真や感想を白地図に加えるようとしている。 (主学)教師や友達と相談しながら、身近な市町村の良いところを調べようとしている。 【評価資料】活動の様子 発言 ワークシート 作成物	単元2「身近な市町村」	・学校周辺の市町村についてそれぞれの特徴と位置関係を知る。方位についても、調べる。 ・学校周辺の土地の使われ方(住宅地、畑、商業地)を見たり、写真を撮ったりして、地図にまとめる。 ・身近な市町村のよいところ、盛んなことを調べたり、発表したりする。
	14	(知及技)身近な公共施設や公共物の役割が分かる。 (思判表力)公共施設や公共物について調べ，それらの役割を考え，表現できる。 (学・人)利用してみたい公共施設を探ることができる。(中社会Ⅰ段階)公共施設と制度(ア)	(知・技)身近な公共施設や公共物の役割を知ろうとしている。 (思・判・表)学校周辺の公共施設や公共物を探そうとしている。 (主学)行ってみたい公共施設について調べようとしている。 【評価資料】活動の様子 発言 ワークシート 作成物	単元3「身近な公共施設をしらべよう」	・沖縄市内の公共施設を調べる。(近くの公園や体育館など)インターネットや新聞などを活用して調べたり、施設の役割や利用時のマナーについて考える。
3 学期	20	(知及技)地域の安全を守るため、関係機関が地域の人々と協力していることが分かる。 (思判表力)地域における災害や事故に対する施設・設備などの配置，緊急時への備えや対応などに着目して，関係機関や地域の人々の諸活動を捉え，そこに関わる人々の働きを考え，表現できる。 (学・人)災害の種類について考えることができる。 (中社会Ⅰ段階)地域の安全(ア)	(知・技)消防署の役割を知ろうとしている。 (思・判・表)消防署の役割を写真や文章でまとめようとしている。 (主学)災害の種類や自分ができることについて、周りの人と相談しながら考えようとしている。 【評価資料】活動の様子 発言 ワークシート 作成物	単元4「消防署のしくみ」	・消防署見学や動画の視聴を通して、地域の安全を守るための取り組みについて調べ、まとめる。 ・校内外の消防設備を調べ、活用について考える学習をする。 ・災害時に必要な物を調べる。 ・校内の防災備蓄について調べる。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 中学部 1年（Ⅱ課程 B類型）社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	1学年5～7組（14名）		・マナーとけいご絵辞典 ・学習プリントなど

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 身近な地域や市区町村の地理的環境，地域の安全を守るための諸活動，地域の産業と消費生活の様子及び身近な地域の様子の移り変わり並びに社会生活に必要なきまり，公共施設の役割及び外国の様子について，具体的な活動や体験を通して，自分との関わりが分かるとともに，調べまとめる技能を身に付けるようにする(中社会Ⅰ段階) (思判表力) 社会的事象について，自分の生活や地域社会と関連付けて具体的に考えたことを表現する基礎的な力を養う(中社会Ⅰ段階) (学・人) 身近な社会に自ら関わろうとする意欲をもち，地域社会の中で生活することの大切さについての自覚を養う(中社会Ⅰ段階)				
------	---	--	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
	22	(知及技) 簡単なきまりやマナーに関する知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の簡単なきまりやマナーが分かり，それらを守って行動できる。 (学・人) きまりを守れたか，教師と一緒にふりかえることができる。 (小生活Ⅱ段階) けきまり	(知・技) 学校内のきまりや交通安全のきまりを教師と一緒に確認しようとしている。 (思・判・表) 交通ルールや公共のマナーを守って行動することができる。 (主学) きまりを守れたか，教師と一緒にふりかえろうとしている。 【評価資料】 活動の様子 発言 ワークシート 作成物	単元1「きまりを守ろう」 ・道を安全に通行するための決まり～交通安全学習～ ・ゴミを分別して捨てるよう ・学校でのきまり，公園でのきまりなど	・学校周辺を歩いたり，動画をしたりして，外出時に安全に移動するためのきまりや気をつける場所について確認し，発表・地図にまとめる。 ・ごみの分別方法や処理の工程を学習する。 ・リサイクル活動を体験しながら，出たゴミがどのような過程で処理，再利用されていくかまとめる。 ・社会や学校で，色々なきまりがあることを知る。
	14	(知及技) 身近な社会の仕組みや公共施設の使い方などを知ることができる。 (思判表力) 教師の援助を求めながら身近な社会の仕組みや公共施設に気付き，それらを表現できる。 (学・人) 学校周辺のお店や施設に関心を持つことができる。(小生活Ⅱ段階) コ 社会の仕組みと公共施設 ※中社会Ⅰ段階イ 公共施設と制度(ア)，中社会Ⅰ段階オ 我が国の地理や歴史(ア)と関連付けて指導	(知・技) 学校や住んでいる市町村の名前や位置を教師と一緒に確認しようとしている。 (思・判・表) 身近な市町村内にある，商業施設・公園・公共施設などの名前・写真や感想を白地図に教師と一緒に書いたり，貼ったりしようとしている。 (主学) 教師や友達と相談しながら，身近な市町村の好きなところを選ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子 発言 ワークシート 作成物	単元2「身近な市町村と公共施設」	・自分や友達がすんでいる市町村を教師と一緒に調べ，地図にまとめる。 ・学校周辺の市町村にある，公共施設やお店，公園などの名前，写真を地図に貼り付ける。その役割も，簡単にまとめる。 ・学校周辺を散策したり校外学習にでかけて，どのようなお店や施設があるか，調べる。 ・身近な市町村の好きな所を写真の中から選んだり，発表したりする。
2学期	14		(知・技) 身近な公共施設や公共物の役割を教師と一緒に確認しようとしている。 (思・判・表) 公共施設や公共物を教師と一緒に探そうとしている。 (主学) 行ってみたい公共施設を写真から選ぼうとしている。 【評価資料】 活動の様子 発言 ワークシート 作成物	単元3「身近な公共施設をしらべよう」	・みんなが使う物は，「大切に使う」という意識を持つ。 ・学校にある備品の扱い方について，確認をする。 ・学校の近くの公共施設を調べる。(近くの公園や横断歩道など) 施設の役割や利用時のマナーについて考える。
3学期	20	(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち，安全な生活をするよう心がけることができる。 (学・人) 火災避難時の約束を教師と一緒に確認ができる。 (小生活Ⅱ段階) イ 安全 (中社会Ⅰ段階) ウ 地域の安全 (小生活Ⅱ段階) コ 社会仕組みと公共施設と関連付けて指導	(知・技) 災害には，「火事や地震」があることを教師と一緒に確認している。 (思・判・表) 火事の際には，消防署が活動することを，教師と一緒にイラストなどでまとめようとしている。 (主学) 避難時の約束を教師と振り返ろうとしている。 【評価資料】 活動の様子 発言 ワークシート 作成物	単元4「消防署のしくみ」	・消防署見学や動画の視聴を通して，地域の安全を守るための取り組みについて調べ，まとめる。 ・校内外の消防設備を調べ，活用について考える学習をする。 ・災害時に必要な物を調べる。 ・校内の防災備蓄について調べる。

留意点 引継ぎ等					
-------------	--	--	--	--	--